

表4 昭和54年3月卒業者の進路状況 (昭和54年5月1日学校基本調査教育庁総務課資料による。( )内の数字は53年度)

進路別 学科別 性別	a	b	c	d	e	f	g	h	i	
	卒業者 数	大学進 学者数	大学進学 者数 b/a	就職者 数	就職率 d/a	各種学 校等進 学者数	各種学 校等進 学者率/a	予備校 進学者 数	就職進 学者数 (大学)	
普通科	男	6,752	2,194	32.5 (37.1)	1,992	29.5 (28.1)	685	10.1 (8.8)	1,510	28
	女	8,355	2,762	33.1 (33.5)	3,668	43.9 (43.1)	1,659	19.9 (18.5)	260	102
	計	15,107	4,956	32.8 (35.1)	5,660	35.0 (36.4)	2,344	15.5 (14.6)	1,770	130
農業科 水産科	男	1,421	60	4.2 (4.0)	1,191	83.8 (84.3)	156	11.0 (9.3)	4	2
	女	355	18	5.1 (3.6)	307	86.4 (89.1)	39	11.0 (8.4)	0	6
	計	1,776	78	4.4 (3.9)	1,498	84.3 (85.2)	195	11.0 (9.1)	4	8
工業科	男	2,931	201	6.9 (7.9)	2,436	83.1 (81.6)	223	7.6 (5.8)	25	6
	女	205	11	5.4 (2.9)	183	89.3 (89.2)	18	8.8 (3.4)	0	4
	計	3,136	212	6.8 (7.6)	2,619	83.5 (82.1)	241	7.7 (5.6)	25	10
商業科	男	1,276	162	12.7 (16.7)	878	68.8 (70.7)	110	8.6 (8.5)	51	6
	女	1,518	99	6.5 (8.3)	1,312	86.4 (82.8)	131	8.6 (7.4)	0	8
	計	2,794	261	9.3 (12.6)	2,190	78.4 (76.7)	241	8.6 (7.9)	51	14
家庭科	女	1,292	110	8.5 (11.4)	1,044	80.8 (77.4)	196	15.2 (11.6)	0	28
理数科	男	153	76	49.7 (52.9)	5	3.3 (2.0)	2	1.3 (0.7)	69	
	女	4	1	25.0 (83.3)	0	0 (0)	0	0 (0)	3	
	計	157	77	49.0 (54.1)	5	3.2 (1.9)	2	1.3 (0.6)	72	
全日制 合計	男	12,533	2,693	21.5 (24.1)	6,502	51.9 (52.0)	1,176	9.4 (8.5)	1,659	42
	女	11,729	3,001	25.6 (26.4)	6,514	55.5 (54.3)	2,043	17.4 (15.8)	263	148
	計	24,262	5,694	23.5 (25.2)	13,016	53.6 (53.1)	3,219	13.3 (11.9)	1,922	190
定時制 合計	男	379	5	1.3 (2.1)	349	92.1 (91.3)	10	2.6 (3.3)	0	1
	女	386	17	4.4 (3.1)	302	78.2 (90.7)	32	8.3 (8.4)	0	8
	計	765	22	2.9 (2.6)	651	85.1 (91.0)	42	5.5 (6.0)	0	9

表5 昭和54年3月卒業者の産業別就職状況

産業別 学科別 性別	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	左記 以外	計
	農 業	林 業	狩 猟 業	漁 業 水 産 業	鉱 業	建 設 業	製 造 業	卸 売 業	小 売 業	金 融 保 険 業	不 動 産 業	運 輸 通 信 業	電 気 道 路 業	サ ー ビ ス 業	公 務
普通科	男	74	3	2	1	75	417	478	26	198	15	205	408	90	1,992
	女	15			2	35	1,000	1,184	303	10	79	27	863	126	3,668
	計	89	3	2	3	110	1,417	1,662	329	10	277	42	1,068	114	5,660
農業科 水産科	男	274	3	18		81	358	221			27	7	97	75	1,191
	女	6				5	125	80			3	7	64	2	307
	計	280	3	18		86	483	301			30	14	161	77	1,498
工業科	男	44			3	255	1,245	299	1	1	188	93	151	131	2,436
	女	1				1	140	16		1	5	2	16		183
	計	45			3	256	1,385	315	1	2	193	95	167	131	2,619
商業科	男	9				10	121	444	70	1	73	16	85	48	878
	女	1				21	339	479	176	2	25	5	246	9	1,312
	計	10				31	460	923	246	3	98	21	331	57	2,190
家庭科	女	1				4	444	306	17		29		240	1	1,044
理数科	男						1							4	5
	女														
	計														
全日制 合計	男	401	6	20	4	421	2,142	1,442	97	2	496	131	538	666	6,502
	女	24			2	66	2,048	2,065	496	13	141	41	1,429	138	6,514
	計	425	6	20	6	487	4,190	3,507	593	15	627	172	1,967	804	13,016
定時制 合計	男	18	1		1	38	114	71	6		25	10	29	21	350
	女	4			1	2	193	47			7		61	2	329
	計	22	1		2	40	307	118	6		32	10	90	23	679

一セントの伸びを示した販売及びサー  
ビス系職業への就業率が前年とほぼ同  
じ水準に止まったが、これまでの趨勢  
からして今後なお成長を続ける部門で  
あろう。

(四) 地域別就業状況(表7、図2参照)  
全日制卒業者の県内就職者数は七千  
五百四十一人で全就職者の五十七・九  
パーセントに達し(男子五十八・パー  
セント、女子五十七・一パーセント)、県  
内留保率の記録を年度を逐って更新し  
ている。

昭和四十九年度まで四十パーセント  
の低迷を続けていた県内留保率が五  
十年以上に上昇に転じて以来急速な伸び  
を示し、いまや六十パーセントの舞台を  
のぞめるほどに至って、本県の職業安  
定行政の積年の努力の成果がみのりつ  
つあるといえよう。

新規卒業者の県内留保状況を学科別  
にみると、農業・水産科の七十二・四  
パーセントをトップに商業科六十四・九  
パーセント、普通科五十五・二パーセン  
ト、家庭科五十四・九パーセント、工業

科五十一・三パーセントと続き、理数  
科を除くすべての学科において五十パ  
ーセント以上を確保している。なかで  
も、従来県内留保率の低かった工業、家  
庭の両学科の卒業生の過半数が県内に  
職場を得るに至ったことは特筆すべき  
である。工業と家庭の両学科を県内留  
保率と職業別就業状況との関連からみ  
ると、学科の特殊性にもよるが、工業  
科では技術、技能系、家庭科では技能サ  
ービス系職種への就職率が極めて高く、  
本県の産業構造による求人絶対数の不

足から県外求職を余儀なくされ、これ  
までは四十パーセントの県内留保に  
なっていたのである。

しかしながら、就職者の約五十八パ  
ーセントが県内に留まるに至った段階  
でも工業科においてはなお五十一パー  
セント台にあることは、本県産業構造、  
産業基盤などの要因とからみ、これら  
高卒者の県内産業への就業機会の拡充  
が依然として重要な課題である。